

## 活動トピックス（記事）

タイトル	「ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム」オンライン視聴
年月日	2021年9月11日（土）13：30～16：30
内容	<p>9月11日（土）、読売新聞社主催の「ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム 次世代へのメッセージ」をオンラインで視聴する機会をいただきました。全校生徒から希望者を募集したところ、90名近くの生徒が応募し、ノーベル賞受賞者の貴重な講義を自宅で視聴しました。</p> <p>フォーラムでは「感染症に負けない」をテーマに、<a href="#">江崎玲於奈</a>・横浜薬科大学長（1973年物理学賞）から動画で特別講義をいただき、<a href="#">山中伸弥</a>・京都大 i P S 細胞研究所長（2012年生理学・医学賞）、<a href="#">脇田隆字</a>・国立感染症研究所長からオンタイムで御講演いただきました。</p> <p>江崎氏はノーベル生理学賞の歴史に触れ、若者に対して科学を通して人類の文明の更なる発展に貢献してほしい旨のメッセージを述べられました。山中氏は自身の研究の履歴や研究にかける思い、i P S 細胞の作製に至った経緯、また、現在は、<a href="#">新型コロナウイルス</a>に感染し、回復した人の細胞から i P S 細胞を作って国内外に提供しており、新型コロナ研究に i P S 細胞で貢献したいと語っておられました。さらに高校生達に向けて、科学リテラシーを身に付けることの重要性について、また、コロナ禍を通して自分は社会にどう貢献できるか考えてほしいというメッセージを述べられました。脇田氏は、自身の専門である、C 型肝炎ウイルス発見に至る歴史についてお話いただくとともに、「新型コロナワクチンで重症化が予防できるようになってきた。社会全体を守るという気持ちでワクチン接種を受けてほしい」と強調されました。</p> <p>このフォーラムを視聴した生徒の一人が以下のように感想を述べています。</p> <p>「私は感染症やその研究について無知だったので、ノーベル賞受賞者の方々の感染症についての話を通して新しく知れたことが多くありました。新型コロナウイルスのことだけでなく、研究についても詳しく聞くことができたので勉強になりました。どの方の話も、コロナ禍の社会での考え方のヒントが散りばめられていて為になる講演だったと思いました。ワクチンや分散登校などで不満や不安がありましたが、それは自分のためだけでなく、社会のためにも必要なことだと気付かされました。『ピンチをチャンスに』と仰っておられたように、今だからこそ出来ることを考え、前向きに過ごしていこうと思います。また、同じ高校生のアイデアは発想が豊かで刺激を受けました。」</p>

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム  
「次世代へのメッセージ」  
Forum: Messages for Coming Generations from Nobel Laureates

# 感染症に 負けない

2021 9.11 [SAT]  
🕒 13:30 ~ 16:30  
よみうり大手町小ホール  
(読売新聞東京本社ビル5F)

**講演者**

- 横浜薬科大学学長 (1973年ノーベル物理学賞) **江崎 玲於奈**
- 京都大学IPS細胞研究所長 (2012年ノーベル生理学・医学賞) **山中 伸弥**
- 国立感染症研究所長 **脇田 隆字**

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「次世代へのメッセージ」事務局  
〒100-8055 (住所不要) 読売新聞東京本社

主催：読売新聞社  
後援：外務省、文部科学省、NHK

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「次世代へのメッセージ」  
FORUM MESSAGES FOR COMING GENERATION FROM NOBEL LAUREATES

参加受賞者	江崎 玲於奈	1973年ノーベル物理学賞 横浜薬科大学学長
	山中 伸弥	2012年ノーベル生理学・医学賞 京都大学IPS細胞研究所長
講演	脇田 隆字	国立感染症研究所長
テーマ	「感染症に負けない」	
タイムテーブル	13:30 ~ 主催者挨拶 南 砂 読売新聞東京本社読者調査課調査課本部長 13:35 ~ 特別講演(ビデオ出演) 江崎 玲於奈 13:45 ~ 基調講演(リモート出演) 山中 伸弥 14:30 ~ 基調講演 脇田 隆字氏 15:00 ~ 休憩 15:15 ~ パネル討論・質疑応答 山中 伸弥氏、脇田 隆字氏 (司会) 杉森 純 読売新聞東京本社読者調査課調査課本部長 16:30ごろ 終了	

**特別講演 (ビデオ出演)**

**江崎 玲於奈** / 横浜薬科大学学長

1925年、大阪府生まれ。東京大学理学部、理学博士。神戸工業、東京通信工業(現ソニー)、IBMワトソン中央研究所主任研究員を経て、筑波大学、芝浦工業大学の学長を歴任。2006年から開始、「平塚村におけるトンネル効果の実験による発見」で1973年にノーベル物理学賞を受賞。98年から京浜東北線科学技術振興財団理事長。

**基調講演 (リモート出演)**

**山中 伸弥** / 京都大学IPS細胞研究所長

1962年、大阪府生まれ。神戸大学医学部卒。米グランドストーン研究所博士研究員。京都大学科学技術大学院大学助教授。同教授。京都大学再生医科学研究所教授などを経て、2010年から現職。04年、読売テクノ・フォーラム「ゴールド・メダル賞」受賞。12年、IPS細胞(人口多能性幹細胞)を開発した業績で、ノーベル生理学・医学賞を受賞。

**基調講演**

**脇田 隆字** / 国立感染症研究所長

1958年、愛知県生まれ。名古屋大学医学部卒。ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院客員研究員。東京都神経科学総合研究所副所長兼研究員。国立感染症研究所ウイルス第二部長などを経て、2018年から現職。新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー(リモート出演)。